



# 明V連だより

～ボランティアとボランティアをつなぐ広報紙～

114号 令和4年4月  
発行：明石市ボランティア連絡会  
編集：広報部 編集委員会  
明石市貴崎1丁目5番13号  
明石市立総合福祉センター内  
TEL・FAX 078-924-9112

## コロナを見据えたボランティア

会長 坂口 逸子



花吹雪から葉桜となり晩春の憂い感じる季節になりました。平素はボランティア連絡会に温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。一昨年から予想の域を超えたコロナ感染拡大でボランティアを取り巻く状況が大きく変わろうとしています。そんな中、新たな年度がスタートしました。私たちは、コロナ対策をとり、少しずつボランティア活動を進めてきています。例えば昨年度は例年のフェスタを「総合福祉センター交流フェア」と大きく内容を変え、コロナ禍での開催に向けて取り組みました。残念ながらそれでも中止せざるを得なくなりました。そこで令和4年度は、それらの経験を踏まえ、従来の活動内容を見直し、中止しなくてもよい対策を練るなどコロナを見据えた「ボランティア」を考えていかなければなりません。安心して楽しく活動ができ、決してボランティアの灯を消すことのないように一緒に歩んでいきましょう。会員の皆さまの一層のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。



# ～新年度フレッシュ役員の紹介～

## 役員名簿

役職	氏名	グループ名	分野	役職	氏名	グループ名	分野
会長	坂口 逸子	中崎なかよし会	地域	幹事	原 明美	ふるさと南	地域
副会長	三宅 由香	あかし傾聴ボランティアグループほほえみ	技術	幹事	近藤 耕治	明石青年学級	施設環境
副会長	中村裕富子	くつろぎ広場「ゆう」	文化健康	幹事	岩崎三彌太	あかねが丘学園ボランティア会	施設環境
会計	磯部 美雪	きさきりんどうの会	地域	幹事	井上実千代	よみきかせ「はとの会」	教育
庶務	糸魚川信夫	サークル りんりん	技術	幹事	増本 賀英	西明石日本語教室	教育
庶務	水田 好一	山のドボランティア同好会	地域	幹事	原田 晴美	あかし健康ソムリエ会	文化健康
庶務	宮田 純子	はちまん いまの会	地域	相談役	山本 洋子	二見みのりの会	地域
幹事	松山 笑子	さんまる会	技術	会計監査	藤田由紀子	あかし点訳グループ	技術
幹事	小林 公子	北朝霧丘「こもれび」	地域	会計監査	吉川 陽子	上ノ丸たすけ合いひまわり会	地域

## 広報部員

分野	グループ名	氏名	分野	グループ名	氏名
技術	サークル音のさんぼみち	川端 健次	教育	西明石日本語教室	増本 賀英
地域	谷八木友愛	井上 博子	文化健康	なぎさ会	朝比奈冴子
施設環境	もったいない明石	熊取谷 護			

## 事業別担当役割

部	担当内容
広報部	①「明V連だより」年間5回発行 ②誌面編集・割付・原稿依頼・原稿入力・校正・発行 ③活動室入口掲示板を活用し、明V連・各部年度方針、フェスタPR等の広報
研修部	①校区ボランティア交流会の企画推進 ②交流会の案内申込等庶務、出席者名簿他関係資料作成 ③1年間の「交流会まとめ」の冊子作成
文化部	《ほっとステーションの運営・手芸講習会開催（年3回）》 ①寄贈された材料（生地、毛糸、刺繍糸、フェルト等）の整理・保管 ②地域サロンとの情報交換、発信の場を定期的で開催（年2回）

# ♪ 校区ボランティア交流会をつないで♪

★貴崎小校区 令和4年1月15日 場所：貴崎みんなのひろばよっといで



明V連7グループと「貴崎まちづくり協議会」加盟団体のボランティアが参加されました。兵庫県社協の永坂氏が「コロナ禍でのつながりづくり」をテーマに話をされました。コロナ禍での地域の困りごとを考えながら、繋がりを見つけるにはどうすれば

よいか。この際いままで見過ごされてきたことを身近に捉え、今後のボランティア活動の在り方に触れられました。高齢者や障害者の方々の日常援助活動を行っている「きさきりんどうの会」から、「コロナ禍で活動制限がある中、何とか頑張っています」との心温まる言葉が印象的でした。

★大久保中校区 題：コロナ感染爆発前でよかった！ 報告者：岩崎三彌太

令和4年1月15日（土）大久保コミセンで、参加者34名で開催した。市の日間感染者数が19日から三桁になり3月まで継続したので、爆発直前だったことになる。3年ぶりの開催が出来た事に関係者一同ほっとした。冒頭の坂口会長の1



996年からの交流会の歴史は、改めて継続の必要性を再認識した。今回はコロナ感染対策上対面討議を止め、あかし保健所 南原さんの講演のみとした。内容はコロナ対策の外出抑制で体力低下懸念の中、フレイル対策の話は適切であった。笑いの効果やお口の体操等々効果的な話と、最後に全員が体操をして終了となった。



えっ！！こんな物まであるの！と、びっくりします。いつでも、ボランティア活動室の当番に声をおかけいただき、『明V連マーク』の引き出しからお選びください。即、お持ち帰りいただけます。サロン・グループ、また、バザー提供品などに役立てていただければ嬉しいです。 《文化部》

# 明石市ボランティアセンターだより

## 令和4年度ボランティア養成講座 開催予定一覧表

養成講座名	日程	場所	講師	申込開始日
はじめての車いすボランティア	6月 14・21・28日(火) 10時~12時	総合福祉センター	サークル りんりん	5月16日(月) 9時~
おりがみボランティア	9月上旬	ふれあいプラザ あかし西	登録ボランティアグループが 講師をされる予定です。	ホームページや広報誌で募集を開始いたします。 おおむね開催日の1か月前から
朗読(音声訳)ボランティア	9月中旬~11月下旬 午前中	総合福祉センター		
点訳ボランティア	10月上旬~11月下旬 午前中	総合福祉センター		
手話ボランティア	10月頃	ふれあいプラザ あかし西		
要約筆記ボランティア	令和5年 2月上旬~下旬	総合福祉センター		

※申し込み方法など詳細は開催日の1か月前からホームページでご確認いただけます。

※感染症の拡大状況により、講座の延期や内容を変更する場合がございます。

【申込み・問合せ】明石市社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉係(明石市ボランティアセンター)

明石市貴崎1丁目5番13号 明石市立総合福祉センター内

電話:078(924)9105 FAX:078(924)9109

(業務時間) ※土日祝、年末年始除く  
8:55~17:40

### 【編集後記】

コロナ禍で制限のある中、岩崎広報部長の提案で誌面校正にZOOM会議を利用していた1年でした。1年間に5回の発刊予定のところ、ボランティアフェスタの中止を余儀なくされ、臨時号発刊中止になったことは残念でした。令和3年度の明V連だよりの作成に携わる機会を頂いたことに感謝しています。  
広報部 三浦美枝